

## 海外児童文学の現在

### －「人種・民族」「階級・階層」「ジェンダー」から考える子どもの本

水間 千恵

はじめに－現代児童文学と「多様性」

#### 1. 「人種・民族」「階級・階層」から考える海外児童文学

##### (1) 「人種・民族」性

歴史－転換としての1960年代

作品の多様化、作家の多様化

##### (2) 「階級・階層」性

児童文学の本質

歴史－転換点としての1930年代

#### 2. 家族の物語から見る「人種・民族」「階級・階層」「ジェンダー」

##### (1) 家庭小説の変遷

古き良き「家庭」－19世紀

多様化する家族－20世紀

変わるもの変わらぬもの－21世紀

##### (2) 移民・難民の物語

移民・難民の物語から見えてくること

「移民する」「難民になる」という経験

家族の物語としての移民・難民の物語

#### 3. 「ジェンダー」から考える海外児童文学

##### (1) 児童文学とジェンダー

ジェンダーをめぐる「知」の変化

##### (2) 家族という鎖、家族という希望

多様性を体現する家族の物語

翻訳絵本にみる家族とジェンダー

#### 4. おわりに－子どもと本をつなぐ者としての責任